



書誌ごとの売上、

原価予算の立案・管理が

全社利益管理へと繋がります

決算までの残り数ヶ月、売上見込み通りに進捗していますか  
想定される原価と実際に差異はありませんか  
来期の利益目標は管理されていますか  
出版社専用の予算管理を実現しました。

### POINT 1 売上予算管理

出版社の売上を構成する「書籍」「雑誌」「広告」の売上予算管理が可能です。特に「書籍」「雑誌」ではその特性に応じ「納品」「返品」「見本」「断裁」という項目別に搬入後3年先までの部数売上予算の策定が可能です。また、企画（プロジェクト）の「搬入予定日」の任意変更の実施により、立案された「売上予算」は日付変更に応じてスライドします。

### POINT 2 間接製作費・販管費管理

間接原価に対し、配賦機能を装備します。特に人件費に関し、企画（プロジェクト）への配賦処理を実現します。全社共通費、部門共通費に関し、【販管費】として部門直課、全社部門直課に対応します。部門損益管理、全社損益管理に対応します。

### POINT 3 予算・実績対比

原価予算に関しては、製品化（原価計上基準日）に同期した費用管理が可能です。「i-TOPICS 予算管理システム」で実施される費用管理は、「i-TOPICS 原価管理システム」で使用される「用途マスター」を利用します。「i-TOPICS 予算管理システム」と「i-TOPICS 原価管理システム」等との連動で部門・企画（プロジェクト）ごとの【予算・実績】比較管理を実現します。

